



# 市議会だよい

No.58

令和元年8月

6月定例会は5月29日から6月21日までの24日間の会期で開催されました。

## 佐伯豊南高等学校 陸上部 4×100mリレー 全国高等学校陸上競技対校選手権大会 北九州地区予選会 で優勝



## 全国高等学校 総合体育大会出場

男子	4 × 100 m	HR39.57 GR40.67
決勝		Official
1	佐伯豊南	41.94
2	東福岡	42.06
3	大分東明	42.15
4	島原	42.23
5	小倉工	42.35
6	諫早	42.38
7	九産大付九州	42.40
8	三井	42.64

左から 1走 三浦涼聖 君 4走 飛弾光星 君  
3走 高瀬翔龍 君 2走 川野流星 君

★ 市議会は、受付の名簿に氏名等を記入するだけで傍聴できます。お気軽にお越しください。

★ 市議会に関する情報は佐伯市のホームページから閲覧できます。 [佐伯市議会](#) 検索

# こんなことを審議しました



▲現在のSCN(佐伯放送センター)の様子

旧町村時代に整備している同軸ケーブルは、既に耐用年数が過ぎ、老朽化しているために計画的にケーブルを光化していきます。

今年度は、本匠地区の整備に入り、令和2年3月に完成予定です。また、新たに整備する佐伯放送センター内に送信機器などの設置も行います。

した。  
佐伯市SCN・本匠エリア光化整備工事の契約の締結をしました。

6月定例会は、5月29日から6月21日まで開催され、議案12件、請願1件、意見書案1件が審議され、全て原案のとおり可決採択されました。また、閉会日に三浦涉議長の不信任案の動議が出され、賛成多数で可決されました。

## まずは本匠エリアから

契約金額  
4億9379万円  
契約先  
日本コムシス株式会社  
九州支店

## 補正予算を可決 プレミアム付商品券事業など

6月の一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億7,207万円を増額して予算総額は517億7,807万円になりました。

補正予算の主な事業は次のとおりです。

### 森林環境譲与税基金積立金（6,005万6,000円） 未婚の児童扶養手当受給者に対する給付金事業

（138万1,000円）

- 消費税が10月から引き上げられる状況下で、子どもの貧困に対応するため、児童扶養手当受給者のうち未婚の親に対して臨時・特別給付金を支給する。一人につき、17,500円を支給。

### 森林環境譲与税活用推進事業（1,634万円）

- 本年度は未整備森林の調査、施業実施に向けた所有者への意向調査の経費。

### 入津湾緊急赤潮対策事業（1,333万2,000円）

- 漁協が事業主体となり、赤潮対策として陸上養殖場に地下海水利用施設整備の補助金。

### プレミアム付商品券事業（6,265万9,000円）

- 低所得者・子育て世帯（0歳から2歳児）を対象に商品券を支給するための事務費を計上。

【事業費は9月補正で計上予定】

## 6月 ケーブル光化整備工事 約4億9000万円

### 意見書

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1復元及び制度の拡充を図るための2020年度政府予算に係る意見書

- 1 少人数学級を推進すること。  
具体的な学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。  
2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るために、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元するとともに制度の拡充をすること。
- 本会議での採決の結果、意見書案は原案のとおり可決されました。

### 〔議員の表決態度の公表〕

※賛否が分かれた議案等について掲載しています。※副議長（御手洗秀光）は、通常の過半数議決には表決権がありません。

件名	会派 議員氏名	議決結果	賛成 反対 （○） （●）	彩輝会			志高会			南風会			自由民主党			公明党			無所属の会			無会派			
				大野 達也	本田 房代	塩月 健治	富松 万平	濱野 芳弘	清家 好文	坪根 大吉	森 三千	飛嶋 一郎	福嶋 勝彦	御手洗 秀光	上田 徹	矢野 幸正	河野 豊	佐藤 元	浅利 勇士	後藤 元	西條 隆洋	井上 清三	菅 さとみ	高司 吉良	吉良 政文
議案第71号	令和元年度佐伯市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	19：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	休	副議長	○	○	○	○	○	○	○	●	○	休
議案第75号	佐伯市森林環境譲与税基金条例の制定について	原案可決	19：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	休	副議長	○	○	○	○	○	○	○	●	○	休

※無所属の会:佐伯を元気にする無所属の会

# 議長不信任案 賛成多数で可決

6月21日、本会議において塩月健治議員から三浦涉議長に対する不信任案の動議が提出されました。

## 提案の要旨

佐伯市議会議員政治倫理条例の第1条には「市政が市民の厳粛な信託によるものであることを認識し、その担い手である佐伯市議会議員の政治倫理に関する規律の基本となる事項を定めることにより、政治倫理の確立と向上に努め、もつて公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とする。」また、同第2条には「議員は、市民の信頼にこたえられる高い倫理性を持つとともに、政治倫理に関する高潔性を示すことができるよう努めなければならぬ。」と規定されている。

しかし、6月19日のテレビ報道や20日の新聞報道で書類送検の文字が大きく紙面を飾った。この報道により議長職の公務も十分にできない状態になると危惧する。

議会が、正常で、公正な運営ができない状態に陥れば、議員に市政を負託した市民に不安を与え混乱を招く。市民の信頼と期待に応える市議会とし

て、三浦議長を信任することはできないため、議長不信任案を提案する。

## ●反対討論（西條隆洋議員）

議長本人においても事件性を認めていない。書類送検されたら、即、起訴、有罪となるものではなく、その後の検察の判断を待つてから対応してもよいのではないか。

## ○賛成討論（高司政文議員）

事件は、業務上横領の疑いにより書類送検された。当時、組合長という地位の利用に加え、議員という地位を利用した可能性もあり、議員としての品位・名誉を損なう行為である。

## ●反対討論（井上清三議員）

報道の内容については、捜査上、議長自身はつきり言えない部分もあるが、否定することは否定している。検察の起訴・不起訴が決まってない中で、不信任案は時期尚早である。

## ○賛成討論（河野豊議員）

不信任案を出すことは、議会として当然である。報道により佐伯市及び佐

伯市議会に対し、大きな衝撃と混乱を生じさせている。これだけで辞表を出す十分な理由である。

## □ミニ知識 □

### 議長不信任とは

議長は、信任されて議会の選挙において当選し、議会を代表する職務を行う。

しかし、議長の議会における言動や議長としてふさわしくない行為等により、議長として信任されなくなり、信任問題に発展する場合がある。このような場合に、議場において議員から議長不信任案の動議として口頭で動議（議員が議会に行う提議）を提出し、佐伯市議会会議規則で定める所定の賛成者（1人以上）があれば動議として成立する。成立した動議は過半数議決により採決される。

ただし、不信任案の動議が可決されたとしても、何ら法的効果を持つものではなく、辞職するかは議長の判断であ

〔議員の表決態度の公表〕 ※賛否が分かれた議案等について掲載しています。※副議長（御手洗秀光）は、通常の過半数議決には表決権がありません。

会派 議員氏名	議決結果	彩輝会		志高会		南風会		自由民主党		公明党		無所属の会																			
		賛成	反対	大野	本田	塩月	富松	濱野	清家	坪根	森	飛高彌一郎	福嶋勝彦	御手洗秀光	上田	矢野	河野	佐藤	浅利美知子	後藤勇人	井上清三	西條隆洋	菅さとみ	高司政文	吉良栄三	三浦涉					
議長不信任案の動議	原案決	17	3	○	○	○	○	○	○	○	三千	大吉	好文	万平	芳弘	好文	徳	休	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	休

※無所属の会：佐伯を元気にする無所属の会

## 総務常任委員会

予算外議案2件  
全て可決すべきものと決す

### 小規模宿泊施設等の皆さん

#### 火災に気をつけて

佐伯市火災予防条例の  
一部改正

延べ床面積300m<sup>2</sup>未満の小規模な宿泊施設や福祉施設等において、特定小規模施設用自動火災報知設備を取り付けた場合、これまで設置が義務付けられていた住宅用防災警報器等の設置が、免除できるようになりました。

※床面積300m<sup>2</sup>未満の小規模な宿泊施設や福祉施設等。

ここに設置していた住宅用防災警報器等が免除になりました。

特定小規模施設用  
自動火災報知設備  
を設置

住宅部分

宿泊施設部分

住宅居室

住宅寝室

答弁

特定小規模施設は、市内にあります。カラオケ店等が3施設、旅館や福祉施設等が36施設ある。

答弁

そのとおりであるが、あくまでも小規模な宿泊施設や福祉施設等である。

2019年10月  
受診分から  
重度心身障害がい者医療費  
助成の窓口申請が  
不要になります！

## 教育民生常任委員会

予算外議案5件、請願1件  
全て可決・採択すべきものと決す

### 財産の取得

#### 厨房機器一式購入

佐伯学校給食センター（仮称）の新築に伴い、厨房機器一式、154品目404点を購入。

契約先

株式会社中西製作所大分営業所  
契約金額  
3億2450万円

給食センターの建設には、優れた能力を有する業者を事前に選定し、協力を得ながら設計を進めることができが最も効果的・効率的であると判断し、プロポーザル方式により相手方を事前に選定したとの説明がありました。

答弁

施設の使いやすさや衛生管理の考え方、特に作業の動線に高い評価を受けた。

質疑

支給対象者は。

10月1日から、重度心身障害者医療費給付事業の支給方式を、現行の償還払い方式から自動償還払い方式へ移行すること等に伴い、規定の整備をするものです。

佐伯市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について

### 重度心身障害者医療給付事業

#### 自動償還払い方式へ

## 建設経済常任委員会

予算外議案4件  
全て可決すべきものと決す



▲森林の状況

### 森林環境譲与税

#### 基金条例を制定

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律により、今年度、国から交付が開始される予定の森林環境譲与税を適正に管理・運用するため基金を設置しようとするものです。譲与額を基金に積み立て、必要な額を一般会計に繰り入れし、森林の整備に関する施策、担い手の育成及び確保、公益的機能に関する普及啓発、木材の利用促進、森林の整備の促進に寄与することを目的とするもので

### 質疑

国土調査が完了していないが、森林經營管理制度を運用する上で支障はないのか。

### 答弁

森林の状況調査を行う上で、国土調査が完了してなくとも問題はない。

### 質疑

使途の公表は年度が終わってから金額と一括して公表するのか。

### 答弁

決算の認定後に年間分をまとめてインターネットに公表する。

### 質疑

5年後から徴収される森林環境税1000円の課税対象者は、森林所有者か、又は全ての市民か。

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の第3条に「この法律の施行地に住所を有する個人に対しては、国が均等の額により森林環境税を課する。」と規定されており、市・県民税の均等割を課されている方は、年額1000円が課税される。

## 議員政治倫理調査特別委員会を設置!!

三浦涉議員に関し令和元年6月19日及び20日に、高速道路架

橋工事に絡み業務上横領の疑いで書類送検されたと新聞・テレビにおいて報道されました。

この報道内容は、佐伯市議会議員政治倫理条例第3条第1号及び第5号に該当するとのこと

から、6月20日に6人の議員の連署により審査請求書が提出され、翌21日、8人の委員をもつて構成する議員政治倫理調査特別委員会が設置されました。

また、同日に第1回目の委員会が開催され、委員長に高司政文委員、副委員長に浅利美知子委員が選任されました。

今後、真偽確認等のため調査が行われます。

付議事件名  
議員政治倫理審査請求に関する件

### 調査期限

調査終了まで閉会中継続調査



▲議員政治倫理調査特別委員会の様子

## 令和元年第1回臨時会の概要

5月8日に開催された臨時会は、予算外議案5件、専決処分の報告17件が上程され、全て原案のとおり可決・承認されました。

### 予算外議案

低所得者の保険料軽減強化を行うため、佐伯市介護保険条例の一部改正などを。

### 予算議案

平成30年度一般会計補正予算では、職員の追加退職者（3人）に支給する退職手当、ふるさとさき応援寄附金の増加に伴う謝礼品、手数料等、ふるさとさき応援基金への積立金等について増額計上しています。

また、児童手当支給事業、つるおか保育所（仮称）建設事業、有害鳥獣捕獲事業等、事業費の確定による減額が見込まれる事業の減額や国の補正によるプレミアム付商品券事業の経費について増額計上しています。



### 委員会等構成名簿

議会運営委員会	定 数	委員長	副委員長	委 員		
	12人以内	富松 万平	浅利美知子	佐藤 元	矢野 幸正	西條 隆洋
				森 三千年	塩月 健治	

常任委員会	定 数	委員長	副委員長	委 員		
	9	後藤 勇人	高司 政文	河野 豊	上田 徹	濱野 芳弘
				福嶋 勝彦	清家 好文	
建設経済	8	佐藤 元	塩月 健治	矢野 幸正	西條 隆洋	大野 達也
教育民生	8	浅利美知子	飛高彌一郎	坪根 大吉	森 三千年	
				御手洗秀光	菅 さとみ	井上 清三
				本田 房代	富松 万平	吉良 栄三

総務常任委員会は2人欠員、建設経済常任委員会は1人欠員。

広報委員会	定 数	委員長	副委員長	委 員		
	9	後藤 勇人	濱野 芳弘	菅 さとみ	浅利美知子	上田 徹
				西條 隆洋	坪根 大吉	塩月 健治
				吉良 栄三		

政策研究会	定 数	会 長	副会長	会 員		
	9	高司 政文	大野 達也	矢野 幸正	本田 房代	森 三千年
				富松 万平	飛高彌一郎	福嶋 勝彦
				清家 好文		

# 一般質問

6月4、5、6日

## ※一般質問の掲載について

一般質問の記事は、議員の責任において、本人が質問・答弁の原稿を作成しています。その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問の掲載順序は紙面の都合上、質問順とは異なります。



質問者	質問の要旨
西條 隆洋	1. 佐伯市大会等誘致事業について 2. 小半鍾乳洞の再開について 3. コミュニティバスの今後の展望について
大野 達也	1. 佐伯図書館について 2. 文化財について
後藤 勇人	1. 障がい者スポーツの推進について 2. 児童生徒の自転車事故撲滅について
飛高彌一郎	1. 佐伯駅のバリアフリー化について 2. 佐伯文化会館大ホールのどん帳について 3. クルーズ船誘致について
佐藤 元	1. 損害賠償事件について 2. 農業委員会のその後の対応について
菅 さとみ	1. 消費税増税の影響について 2. 障がいのある方への関わり方について
塩月 健治	1. 小型合併処理浄化槽の保守点検料金と清掃料金について 2. 農林水産業の新規就業者について 3. 本庁舎に掲げる横断幕・懸垂幕について
清家 好文	1. 高齢者福祉について 2. 窓口業務について
矢野 幸正	1. 熱中症対策について 2. 大入島地区の活性化について
福嶋 勝彦	1. 佐伯市消防団について
井上 清三	1. 障がい者政策について 2. 貧しい生活を余儀なくされる方への支援について
浅利美知子	1. 通園・園外保育の安全対策について 2. 少子化対策重点推進事業について 3. 西上浦地区の諸問題について
本田 房代	1. ダム防災について 2. 有機農業について 3. 佐伯地域周辺部の活性化について
高司 政文	1. プラスチックごみの処理について 2. 興人の送水管問題について



## 佐伯市へ大会等誘致！

西條 隆洋

目的について問う。

答

観光誘客には様々な手法があるが、スポーツツーリズムは本市の強みを生かし、合宿や大会等を誘致しようとするものである。市内の宿泊施設や飲食業など様々な業種に加え、関連消費を含めると地域経済に大きな効果をもたらすものと考える。しかしながら、今後更に宿泊者数等を増やしていくためには、市内のホテル・旅館の一層の協力、キャンプ施設の有効活用等が必要になるとを考えている。

問

セールスポイントについて問う。

答

交通アクセスの良さに加え移動費用の助成等も県下トップクラスである。また、文化・スポーツツーリズム推進課がワンストップ窓口として施設予約、弁当、飲食店等の紹介等の連絡・調整を行っている。

問

クラブチーム等への支援策について問う。

答

クラブチーム等が、大会や合宿で総合運動公園を利用する場合、会場の調整を行い、期間や人数など一定の要件を満たしていれば利用料金の减免を行っている。



▲バリアフリー化が待たれる佐伯駅



▲ スポーツツーリズムによる  
ミキハウス硬式野球部の合宿誘致  
(2月7日から22日まで)



## 佐伯駅 バリアフリー化・実現へ！

飛高 眞一郎

問

当初予算に計上した佐伯駅バリアフリー化事業の概要について問う。

答

JR九州が国に申請している事業の内容は、11人乗りのエレベーターを2基、多機能トイレ1か所、その他、通路の手すりや点字運賃表などの設置となっている。

事業実施年度は、事業決定がされたら今年度設計を行い、来年度に工事を行う予定である。全体の事業費は、概算で2億6400万円。内訳は、設計が2900万円、工事が2億3500万円となっている。

事業費の負担割合は、JR九州、国、地元自治体でそれぞれ3分の1ずつとなっている。昨年度、市長会を通じて大分県に要望した結果、佐伯駅についても県から地元負担分の2分の1を負担してもらえるようになつたので、佐伯市の負担は全体の6分の1の4400万円となる。

現在は、国土交通省からの事業決定を心待ちにしており、今年度採択されるものと確信している。佐伯駅のバリアフリー化が実現すれば、佐伯市民はもとより観光の玄関口である佐伯駅を利用する方々にとつても、安全・安心に利用できることから大幅な利便性の向上が図られる。

## 児童生徒の自転車事故撲滅を！

後藤 勇人

学校現場でどのような安全教育とマナー向上の取り組みを実施しているのか。

答

教育課程に位置付けた学校安全計画に基づき、児童生徒の発達段階に応じて自転車の乗り方を含めた交通安全教育に取り組んでいます。具体的には、小・中学校ともに4月の学年始めや夏休み前に、学級活動で自転車乗車時のきまりやマナーを学んだり、交通安全協会と連携した交通安全教室を開催し、講話を聴いたり、実際に自転車を運転して体験的に学んだりしながら交通安全の意識を高め、知識や技術を得ている。



## 損害賠償事件について

佐藤 元

損害賠償事件の補償について。

答

損害賠償額の根拠については、最高裁判例により、修理が可能な場合は、修理費と時価額を比較し、どちらか低いほうを損害賠償額としている。修理が不可能な場合は、時価額を損害賠償額とする。

答

損害賠償事件の基準・指針はあるのか。

答

本市が賠償すべき損害賠償額の基準については、基本的に裁判所の判例等を参考にしていいる。指針については特にならない。

物損事故の賠償額は取得原価なのか。  
取得原価ではなく、基本的に修理の実費を基準としている。しかし、修理が不可能な場合もあるので、その場合は昭和49年に示された最高裁判所の判例を参考にして賠償額を算出することとしている。修理が不可能な場合には、原則として全損と評価し、事故時の時価額を損害額としている。

賠償金額の算出に係る保険適用について。  
物損事故が保険の対象となる場合には、市が加入している保険会社との協議の上、賠償金額を算出している。

## 消費税増税は仕方ない？ 市の対応は？

菅 さとみ

10月に予定されている消費税増税は、財政健全化の妨げになると国家経済の有識者が増税のリスクを指摘している。財政赤字

100兆円を解消するため消費税3%を導入し、増税を重ねたが、国の借金は11倍以上に増え本末転倒である。本市の財政への影響と市民及び市内企業への影響を問う。

答

消費税増税により家計の負担は増え、購買力の低下、住宅投資の押し下げ、企業は生産活動低下、収益の悪化が考えられる。増税後の予想は難しいが、租税収入の大きな影響は受けないと考えている。

答

政府の借金である財政赤字を「国民の借金」と報じ、財政健全化と社会保障の充実と消費税増税が進められているが、赤字国債や地方債の増加を引き起こし、国と地方公共団体の財政の圧迫を招く。住民の暮らしを守り、地域の経済活動を活性化させるためにも、消費税増税を慎重に対処するように、国に対して要請する考えはない。

地方からは景気が落ちないように対策していただきたいのが本音である。佐伯市民7万人にとって何が良いか判断しなくてはいけない。国の動向を見ながら、悪影響があるなら、国・県に伝える姿勢を貫いていきたいと考えている。

## 文化財の保存と活用を

大野 達也



問

高齢化を踏まえた文化財継承対策を問う。

答

少子高齢化が進む中で、無形文化財の継承者不足から、伝統が途絶える可能性が高まっていると認識している。

地域主体の継承への取り組みや、学校単位でそれぞれの地域にある伝統文化に触れ、体験を通して、継承を図ろうとしている。加えて、地域の伝統芸能・伝統文化の保存・継承に対する取り組みに対しても、佐伯創生推進総合対策事業で支援している。

個人所有の文化財については、文化財保護推進委員等を通じて、各地域の文化財情報の収集を行っている。その中で、歴史的価値があるものは調査・研究を行い、文化財としての指定のほか、購入・寄贈・寄託などの方法により、保存・継承に努める。

問

市の学芸員の人員不足を感じる。市の認識と増員についての見解を問う。

現在4人の学芸員がいるが、市史編さんの本格化により、業務量の増加が見込まれる。また、近代史や民俗に係る知見を有する職員が不足している。今後、人材確保について、検討していく。



▲ 佐伯市障がい者相談支援センター（和楽内）



▲ 黒沢区の富尾神社で奉納される  
大分県指定無形民族文化財 神踊・杖踊

問

働きたくても雇用環境が厳しい  
障がい者の就労対策について

井上 清三



答

市内在住の精神に障がいがある方から面接に行つても、障がい者枠の雇用があつても、できる仕事があつても、「障がい者」、それでいて雇用に結びつかず、年金だけでは親亡き後が心配だという相談を受けた。多くの精神障がい者に必要なことは、ずっと家にいるのではなく、朝家を出て仕事に行き、汗を流して働き、家に帰る、いわゆる普通人と同じリズムである。今後、手帳を持つ精神障がい者の増加が予測されるが、どのような雇用支援を考えているのか。

精神、肉体、知的に障がいのある方に対し、障がい者雇用相談支援センターを和楽内に設置している。また、大分県も今年度から企業訪問に力を入れるという意欲を示しており、佐伯市もこれに追随していく。今後は市内の事業者と連携し、障がいのある方に対して働きやすい就労環境の整備や障がい者雇用に関する理解の推進を図っていくことが必要であり、まず市の職員の意識向上のために、住吉浜リゾートパーク園長の釣宮浩三氏を講師に招き、障がい者雇用についての職員研修を実施する。また、民間の事業者に対しても、業者向けの障がい者雇用についてのセミナーを実施して、障がい者雇用の促進に努めていく。

## 高齢者福祉対策は

清家 好文



高齢者の認知症予防対策として、どのような施策を行っているか問う。

答

認知症予防対策として、身体や脳のチェックを行う「おたっしゃ出前教室」で、認知症による前の軽度認知障害がいを早期に発見し、本人の状態に応じて有酸素運動や脳トレーニング、体力測定等のサービスを提供している。

問

高齢化社会が進むにつけ、認知症患者数が増えると予想されるが、その課題点を問う。

答

認知症高齢者は、記憶障害、判断力低下、失語等によりコミュニケーションが困難になり、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができなくなる。今後の課題としては、認知症への社会の理解を深めることが必要であり、市としても認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポートの養成や地域包括支援センターを中心に、医療、介護、予防、見守りなど、認知症の人の支援に携わる全ての人々の広域的な連帯や地域ネットワークの構築が重要であると考えている。



▲ エコセンター番匠



▲ 青山地区で開催された  
「おたっしゃ出前教室」の様子

## どうするプラスチックごみ！

高司 政文



問

環境省は自治体に対して、産業廃棄物として排出されたプラスチックごみを焼却施設などで受け入れるよう要請したことである。そこでエコセンター番匠の処理能力と現在の処理量を問う。

答

1日24時間運転で55t処理できる炉を2基設置、110tの処理能力がある。現在2炉で1日105t前後処理している。

問

プラスチックごみのリサイクルに取り組む考えはないか。

答

本施設の溶融炉方式の特性を生かすためゴミ処理の際に発生する熱エネルギーを回収し、再利用しているので、燃料として一定量のプラスチックごみが必要。また、新たな分別回収はコスト増になるので現状のまま対応したい。

問

環境省からの要請に対する本市の対応は。

答

エコセンター番匠の処理能力の上限に近い運転をしているので受け入れは厳しい。



## 佐伯市消防団について

福嶋 勝彦



出動手当について、県下市町村の金額について問う。

答

佐伯市消防団の出動手当については、災害時の出動の他に各種訓練、予防広報活動、風水害対策に係る事前準備、花火大会や祭り等の警備に係る地区自治会からの要請に対し、全て3500円の出動手当を支給している。県下市町村の消防団員の状況を見ると、災害出動については、大分市3600円、別府市3500円、日田市2000円、その他市町村では、1000円から2000円の範囲内で支給しているが、訓練やその他の出動に対して減額している市町村もある。

台風や行方不明者の捜索等、長時間の出動については、別途支給すべきであると考えるが、市の考え方を問う。

答

長時間の出動に対する出動手当の支給については、近年台風や大雨の警戒に伴い長時間出動する場合もあるため、他市の長時間の出動に対する手当について、調査研究をしたいと考えている。



▲旧西上浦幼稚園



▲水防訓練での消防団員の様子

## 西上浦地区の諸問題解決を

浅利 美知子



一昨年の台風18号により、狩生川にはいまだに土砂が堆積したままの状態である。今年2月21日、区長会が市長に土砂撤去を求める要望書を提出している。その後、どのように検討しているのか。

答

大分県佐伯土木事務所が国道より上流の一部区間の土砂撤去を行ったが、昨年の台風24号により再び堆積している。また、河口部については撤去できていない。土砂撤去の必要性を十分認識しているが、土砂の処理場に苦慮している。提案の旧西上浦小学校グラウンドへの盛り土については、土砂の受け入れ条件等の課題を整理し、処理場候補の一つとして協議しており、早期に結論を出したないと考えている。

問

旧西上浦小学校体育館は、今年度で利用できなくなると聞いている。今後、投票所や特定健診・がん検診はどこで行うのか。

答

体育館は、耐震診断や天井材の撤去が実施されていない。安全性が確保できないため、投票所は旧西上浦幼稚園で実施したいと考えている。健診は区長会の意見を聞きながら選定を進めている。

## 浄化槽清掃料金等 地域間格差を是正へ

塩月 健治



小型合併浄化槽（5人槽）の保守点検料金と清掃料金の状況は。

業者や地域によってそれぞれ料金の違いがある。年額で、低いところは旧佐伯地域等で2万6000円、高いところは旧蒲江地域の4万8600円で、その差額は、2万2600円である。

地域間格差を是正し、佐伯市全域において料金にすべきと考えるが、見解は。

佐伯市における直営の業務ではないため、手数料条例の制定はできない。業者の任意価格となっているので、料金を統一することはできないと考えている。

料金の統一ができないのなら、佐伯市が浄化槽清掃許可業者に、この差額分を直接支払う、受領委任払い制度を導入したらどうか。

制度をよく知らないので、調査を行い、確認する。

## 有機農業の普及促進について

本田 房代



有機農業を行う農家の捉え方及び有機農業を行なう農家数の目標値について問う。

有機JAS認証の有無にかかわらず、営農としての有機農業を行う生産者を対象と捉えている。目標値は、本年度策定する佐伯市有機農業推進計画の中で検討する。

有機農業を普及促進するためには、「土づくり」と「流通・販売網」が重要だと考える。具体的な取り組みを問う。

既存の堆肥センターの製造工程や生産量、堆肥の成分分析等を行うなど優良堆肥の確保について調査・研究を進めている。また、今秋開催予定の女島第二市民ふれあい農園を実践の場とし、土づくりの研修会を開催する。流通・販売網は、道の駅、農産物直売所での販売と飲食店での活用を図る。

推進計画の概要及び進捗状況を問う。

基本理念、重点目標、取り組みの展開方向などについて策定する。「オーガニックビジョン」と一体的に推進する。夏までに有機農業推進委員会を立ち上げ、本年度中に策定する。委員には、生産者、飲食業者、一般消費者等、若い人や女性を含む有機農業に関心のある方にお願いしたい。

## 熱中症対策について

矢野 幸正



猛暑日が続いた昨年度の佐伯管内における熱中症の症状で病院に搬送された人数を年代別に問う。

救急搬送人員は72人で年々増加傾向にある。傷病程度別の人數は、軽症48人、中等症22人、重症2人となっている。年代別は小児6人、成人21人、高齢者13人、後期高齢者32人となっている。

市の熱中症予防対策に対する具体的な取り組みについて問う。

消防本部及び福祉保健部では、今年度も熱中症に対する予防広報をしており、4月29日から10月6日までの間、救急講習会において熱中症に対する予防方法について啓発を行っている。

佐伯管内にはエアコンが設置されてない家庭もある。熱中症予防の一環としてエアコンが整備されている公共施設の無料開放について問う。

昨年は県の機関が2か所、市が本庁舎と各振興局の9か所、薬局19か所などの38か所を一時休憩所とした。今年は佐伯教育市民ホールまな美、ふれあいセンター宇目などを新たに休憩所とすることを考えている。

# 第11回 議会報告会「議員と語ろう会」



参加者

高齢者の交通事故が大きく報道されており、自分たちもいざれば免許証を返納しなければと思っています。高齢者が免許証を返納しても暮らしていく地域づくり、まちづくりを関係機関と連携して考えてください。

議員

議会も公共交通施策について政策研究会が中心となり、提言書をまとめた経緯があります。高齢者の免許証返納に対して、どういう施策を打っていくのかは、議会としても10年先を見据えた議論が必要であると考えています。

△米水津地区公民館会場の様子

もっと聞かせて、みんなの声！

令和元年5月13日から16日の間に、市内15会場で開催されました。各議員が5班に分かれ、それぞれが所属する各委員会等の活動として、定例会の議案の審査内容や視察等の報告を行いました。

また「議員と語ろう会」と題し、各会場で意見交換を行い、地域の諸課題や市政及び議会運営への提言等、それぞれの分野に対し意見が出されました。

## 「議員と語ろう会」でお聞きした 意見・要望の一例を紹介

- 給食センターは学校給食だけでなく、これからは高齢者への食事の提供も考えられないか。
- 漂流・漂着ごみが多く災害になることも心配される。大量のごみが流れる対応策をもっと考えてほしい。
- 市が管理する集会所の無償譲渡については、地元への大きな負担になるので、議会としても何か対応策を考えてほしい。
- 佐伯市のイベントを皆さんに知らせるような「年間イベント冊子」を作成してみては。
- コミュニティバスは利便性が悪いので利用者が増えないのでないのか。もっと利用しやすいものにしてほしい。
- 各会場で出されたたくさんの意見に対しまして、現在議会で調査・検討をしています。結果は、佐伯市議会ホームページや地区公民館にて公表し、次回の「議員と語ろう会」でもお知らせいたします。

## 参加者の状況

会場	参加者数
渡町台地区公民館	25
鶴岡地区公民館	6
上堅田地区公民館	7
青山地区公民館	33
大入島地区公民館	23
西上浦地区公民館	12
上浦地区公民館	12
弥生文化会館	5
本匠地区公民館	21
宇目地区公民館	23
直川地区公民館	18
鶴見地区公民館羽出分館	16
鶴見地区公民館田の浦分館	11
米水津地区公民館	20
蒲江地区公民館	9
合計(総参加者数)	241

# 平成30年度 政務活動費 収支報告内訳一覧

政務活動費は議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり年額20万円を会派及び無会派議員に交付しています。

交付決定額から実績額を控除して残余がある場合は、その残金を返納しています。また、実績額のうち交付決定額を超過した額は、会派及び無会派議員で負担しています。

平成30年度における会派及び無会派議員の支出状況、主な使途は次のとおりです。

会派名	実績額										交付決定額	
	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費		
彩輝会 (7→6人)	948,252		221,434								1,169,686	1,276,800
志高会 (4人)	229,067	433,688					33,307	10,197		32,400	738,659	800,000
南風会 (3人)	269,874	135,864	109,489				21,562	58,968			595,757	600,000
自由民主党 (2人)	225,787						11,581	46,274		70,880	354,522	400,000
公明党 (2人)	157,619						3,186				160,805	400,000
佐伯を元気にする無所属の会(2人)	241,143		289,148					7,407			537,698	400,000
菅さとみ (無会派)	122,890							58,716			181,606	200,000
高司政文 (無会派)	47,306		79,000		50,620			98,549			275,475	200,000
三浦涉 (無会派)								41,964			41,964	200,000
吉良栄三 (無会派)	48,385							10,197			58,582	200,000

会派名	政務活動費の主な使途
彩輝会	【調査研究費】・市民協働・交流拠点複合施設（新潟県長岡市）・コンパクトシティについて（新潟県見附市）・ものづくり活性化の支援について（新潟県燕市）・窓口業務の民間委託について（熊本県山鹿市）・図書館運営について（佐賀県武雄市）・道の駅の取組について（福岡県宗像市）・リノベーションのまちづくりについて（福岡県北九州市）【広報費】・会報印刷代
志高会	【調査研究費】・コミュニティビジネスで過疎のまち再生に導く取組について（島根県雲南市）・タブレット端末を利用した議会運営について（広島県三次市議会）・定住対策、A級グルメ、6次産業の推進等による地域活性化について（島根県邑南町）【研修費】・地方議員研究会主催研修「議会活動集中講座 in 東京」【資料作成費】・事務用品【資料購入費】・新聞購読料【事務所費】・パソコンリース
南風会	【調査研究費】・薬用植物栽培について（大分県杵築市）・公共施設の再編問題について（神奈川県横浜市）・水産改革法について（水産庁）【研修費】・地方議員研修会主催研修「東日本大震災から学ぶ防災、減災について」【広報費】・議会報告印刷代【資料作成費】・事務用品【資料購入費】・書籍購入
自由民主党	【調査研究費】・農地転用等に関する国の方針について（農林水産省）・佐伯市総合運動公園活用の要請・柑橘栽培振興を目指した6次産業化に関する調査研究【資料作成費】・「佐伯市の歴史研修会」資料の作成費【資料購入費】・機関誌購入、情報公開手数料【事務所費】・事務所賃借料
公明党	【調査研究費】・市民協働・交流拠点複合施設（新潟県長岡市）・コンパクトシティについて（新潟県見附市）・ものづくり活性化の支援について（新潟県燕市）【資料作成費】・写真現像費
佐伯を元気にする無所属の会	【調査研究費】・児童教育無償化をはじめ教育政策について（文部科学省）・まち・ひと・しごと創生総合戦略について（総務省）・廃校施設の利活用について（一財）都市農山漁村交流活性化機構・道の駅の取組（兵庫県神戸市、大阪府岸和田市）【広報費】・広報誌印刷代【資料購入費】・新聞購読料
菅さとみ (無会派)	【調査研究費】・児童教育無償化をはじめ教育政策について（文部科学省）・まち・ひと・しごと創生総合戦略について（総務省）・廃校施設の利活用について（一財）都市農山漁村交流活性化機構・道の駅の取組（兵庫県神戸市、大阪府岸和田市）【資料購入費】・新聞購読料
高司政文 (無会派)	【調査研究費】・中山間地域の環境の保全と地域資源を活用した産業振興（高知県大川村）・道の駅の経営について（高知県四万十町）【広報費】・議会報告印刷代【要請・陳情活動費】・中央省庁【資料購入費】・書籍購入、新聞購読料
三浦涉 (無会派)	【資料購入費】・新聞購読料
吉良栄三 (無会派)	【調査研究費】・中山間地域の環境の保全と地域資源を活用した産業振興（高知県大川村）・道の駅の経営について（高知県四万十町）【資料購入費】・新聞購読料

# 第72回 大分県民体育大会

6月22日から24日に開催



議員ソフトボール 第3位

陸上競技 議員教委 100m  
高司政文議員 第5位



- 第1走 吉良栄三 議員
- 第2走 西條隆洋 議員
- 第3走 後藤勇人 議員
- 第4走 大野達也 議員

陸上競技 議員教委 4×100mリレー 第4位

9月定例会のお知らせ(予定)						
日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4 講運 本会議 (閉会日)	5	6	7
8	9	10 本会議 一般質問	11 本会議 一般質問	12 本会議 一般質問	13 本会議 一般質問	14
15	16	17 建設経済 教育民生 (委員会)	18 総務 (委員会)	19 予算 特別委員会	20	21
22	23	24 講運 本会議 (閉会日)	25	26	27	28

任期満了に伴い、議会モニター（一般）委嘱式を6月3日に開催し、9人に議長が委嘱状の交付を行いました。付後、議長挨拶、議会事務局から議会モニターリー制度について説明がありました。

▲議会モニター委嘱式の様子

議会モニター（一般）に  
委嘱状を交付



本会議等の録画映像などは市議会のHPで公開しています。

今年も議会報告会「議員と語ろう会」を5月に開催しました。会を増すことに参加者が減ってきていましたが、貴重な御意見をいただく機会です。そこで、毎回、資料や広報に工夫をしながら努力しているところです。よく先輩から「現場の声を聞く」ことが大切だと、立場が上になります。専門に固執したり、立場が上になつたりするほど、現場が見えづらくなることがあります。しかし、知恵はあほ現るかもしれません。変革の鍵は最前線にあります。だから一人一人の声から真摯に学ぶことが必要です。

「人の話は最後までよく聞くべき！」と言わされました。話すことの2倍。聞くためには、耳が二つあるその勇人です。聞くたために、耳が二つあるその勇人です。重要な性をお聞きします。専門に固執したり、立場が上になつたりするほど、現場が見えづらくなることがあります。しかし、知恵はあほ現るかもしれません。変革の鍵は最前線にあります。だから一人一人の声から真摯に学ぶことが必要です。

「人の話は最後までよく聞くべき！」と言わされました。話すことの2倍。聞くためには、耳が二つあるその勇人です。聞くたために、耳が二つあるその勇人です。重要な性をお聞きします。専門に固執したり、立場が上になつたりするほど、現場が見えづらくなることがあります。しかし、知恵はあほ現るかもしれません。変革の鍵は最前線にあります。だから一人一人の声から真摯に学ぶことが必要です。

引き続き広報委員長の大任を押しました。議会で起きたこと、協議されたこと、議員の頑張りを解りやすく伝えて行きたいと新メンバーになりました。広報委員と共に決意をしていきます。

編集後記